

いわむら

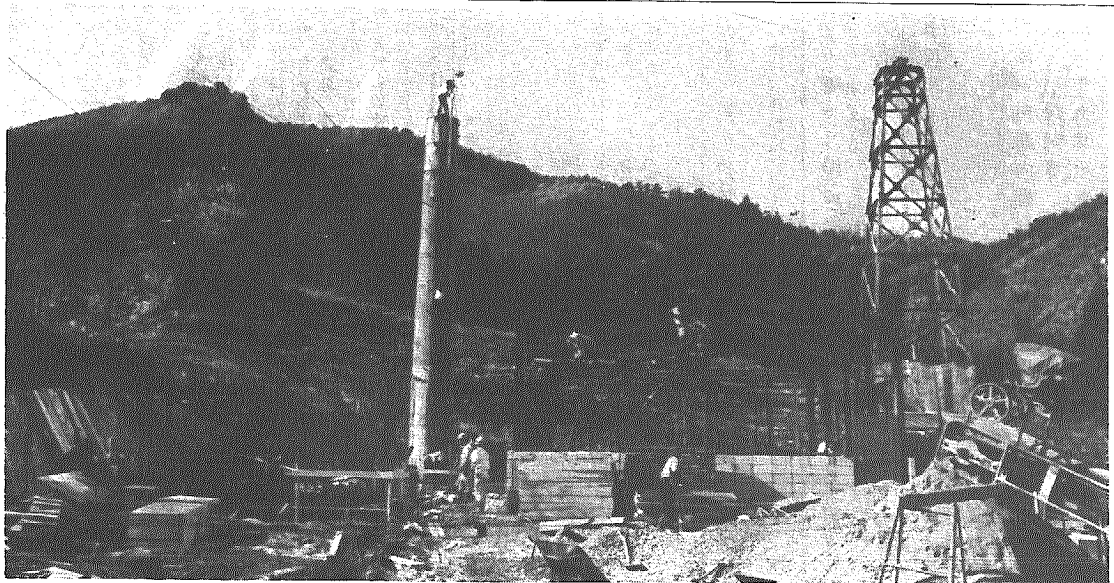
発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷 KK

No. 44

村章 きまる



新潟日報事業社を通じ、村章の公募をしたところ177点の応募作品があり、村内議会議員をはじめ、各種団体等の方々から慎重審査を願った結果、標記のものが入選しました。岩室村の「岩」が未来への希望と近代化の理想に向って大きくはばたき、村民の融和と村の円満なる発展を表徴したものです。入選者は佐賀県西有田町佐藤定夫氏(49才)産業デザイナーの作品です。



温泉開発 湯源開発計画により温泉集中加熱事業を施行することになり、配管延長1,500米、毎分250ℓを各旅館着温50°Cに加熱し給湯する。源泉は地下103米迄掘さくし、良質、多量、増温をめざし新潟北陸盤岩が岩室地内で着工、加熱工事は東京ドリリング工業が施行にあたっている。事業費は起債2,500万円、加入旅館から55.0万円で、総額約3,050万円で本年未完了し、管理所は明春竣功する。この事業は県下でも最初で、各方面から注目され、県でも力を入れており、早期に完了し、村の発展に大いに役立つことを願っている。
(写真は—温泉集中加熱工事現場)

昭和四十年年度県政功勞者
産業部門に

高綱孝邦氏

表彰される

本年度県政功勞者産業部 専ら水産業の海の男として門に、開議の高綱孝邦氏が活躍、その間に船長漁撈長十一月三日県庁の貴賓室にの資格免許を修得して南洋於て、県知事から表彰されました。
高綱氏は、開議の小学校より海軍航空隊に志願し、大東亜戦争中は、各地に転戦、終戦後父留吉氏の自営漁業に漁夫として乗組んで
専ら水産業の海の男として活躍、その間に船長漁撈長の資格免許を修得して南洋に、南洋の船長として、赤道下のサモア島を本拠地として、マグロ漁業に専念し、本国へ帰港すると、休む暇もなく、寒風さかまくむ暇もなく、寒風さかまく北洋漁業サケ、マス操業に出港、常に日本水産業に貢献しているものである。
現在は南洋サモア島にマグロ操業に専念しているがその功を讃えて、県で表彰となったのである。
この際の表彰式に、高綱氏の夫人久子さんが、代理で授賞されました。
村としても、ほんとうに名譽のことであります。

順調に進む

中学校の新築工事

今年四月より着工いたしました四十年度の前期分の工事でも四三坪も順調な天候に恵まれ九月末完成いたしました。休む間もなく、業も終りに近づいた十月半ば頃から作業員漸次増加し、十一月二十日現在では工程表より約五日程度の進行状況に達しました。
工事に当られる皆さん、よろしくお祈り致します。

村税完納で明るいお正月

12月25日が納期限です

第四回村民卓球大会の個人戦の勝者に優勝タテを贈呈致します。ふっつて参加下さい。